

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 2 区分
 【発行日】平成 17 年 8 月 25 日 (2005.8.25)

【公開番号】特開 2003-302898 (P2003-302898A)
 【公開日】平成 15 年 10 月 24 日 (2003.10.24)
 【出願番号】特願 2002-108675 (P2002-108675)
 【国際特許分類第 7 版】

G 0 9 B 29/10

G 0 6 T 1/00

G 0 6 T 7/00

G 0 6 T 11/60

G 0 9 B 29/00

【F I】

G 0 9 B 29/10 A

G 0 6 T 1/00 2 8 5

G 0 6 T 7/00 3 0 0 F

G 0 6 T 11/60 3 0 0

G 0 9 B 29/00 A

G 0 9 B 29/00 Z

【手続補正書】

【提出日】平成 17 年 2 月 16 日 (2005.2.16)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

景観撮像画像を取得するステップと、記憶手段に記憶される地図情報から上記画像の範囲の地図を呼び出すステップと、該地図の属性情報と上記画像の属性情報とを用いて該画像に対する該地図の精度を判定するステップと、上記判定結果が高精度の場合には該地図と上記画像を用いて詳細形状解析処理を行うステップと、上記判定結果が低精度の場合には該地図と上記画像を用いて概略形状解析処理を行うステップと、上記解析処理の結果を出力手段に出力させるステップとをコンピュータに実行させるためのプログラム。

【請求項 2】

上記詳細形状解析処理は、上記地図と上記画像を重ね合わせて、該画像中の対象とする領域境界を抽出するステップと、該抽出した領域から目標物を検出するステップとを有し、上記概略形状解析処理は、上記詳細形状解析処理のステップに加えて、上記領域境界付近の検出目標物には該境界付近に存在することを示すフラグを付与するステップと、該検出目標物と該フラグ情報を合わせて上記出力手段に出力させるステップとを有することを特徴とする請求項 1 記載のプログラム。

【請求項 3】

上記概略形状解析処理は、上記フラグ情報から上記境界付近で検出された目標物を特定するステップと、該目標物について記憶手段に記憶される該目標物についての属性情報を用いて上記詳細形状解析処理により詳細な解析判定処理を行うステップとを有することを特徴とする請求項 2 記載のプログラム。

【請求項 4】

上記概略形状解析処理は、上記精度判定結果を参照して上記画像と上記低精度地図を照合

するステップと、該照合結果を用いて該低精度地図の情報を変更するステップと、該変更済み地図と該変更の情報を含む属性情報を上記記憶手段に記憶するステップとを有することを特徴とする請求項 1 ～ 3 のいずれかに記載のプログラム。

【請求項 5】

上記地図を呼び出すステップの前に上記画像範囲における地図の有無を判定するステップを有し、地図が無い場合には上記画像より簡易地図を作成するステップと、該作成された簡易地図を作成利用して上記概略形状解析処理を行うステップとを有することを特徴とする請求項 1 ～ 4 のいずれかに記載のプログラム。

【請求項 6】

上記目標物を検出した場合に検出情報を出力するステップと、目標物を検出しなかった場合には作業記録を記録手段に記録するステップとを有することを特徴とする請求項 1 ～ 5 のいずれか 1 つに記載のプログラム。

【請求項 7】

景観撮像手段と、地図情報を有する記録手段と制御部を有する地図情報解析装置であって、上記制御部は、上記記憶手段に記憶される地図情報から上記景観撮像手段によって取得した画像の範囲の地図を呼び出すステップと、該地図の属性情報と上記画像の属性情報とを用いて該画像に対する該地図の精度を判定し、上記判定結果に基づいて以降の解析処理ステップを変更することを特徴とする地図情報解析装置。